

9/9 埼玉県生協連ピースフォーラム

オキナワ、ヒロシマ、ナガサキ行動の参加者が活動報告、交流しました



参加者は自分の言葉で体験を報告しました



グループ交流では熱心に聞き合う姿が

浦和コミュニティセンター第13集会室で開催し、コープみらい、パルシステム埼玉、生活クラブ生協、医療生協さいたま、埼玉県生協連から38人（うち小中学生4人）が参加しました。

戦争体験者やヒバクシャの高齢化のなかで、次世代への継承を考える機会として、沖縄・広島・長崎での平和行動に参加された方から、現地での体験を報告・共有し、現地で感じたことを忘れず、日々の暮らしや活動の中で何ができるのかを参加者どうして話し合うことができました。

11/2 埼玉県消費生活功労者表彰式

会員生協から2人が表彰されました



埼玉県消費生活功労者表彰式が埼玉県知事公館で行われ、消費者団体や消費生活協同組合の活動を通して消費者の利益のために取り組んでこられた15人の方が表彰されました。今年度、埼玉県生協連会員生協からは、石井雅栄さん（生活協同組合コープみらい・左から2人目）、中秀夫さん（コープデリ生活協同組合連合会・左から3人目）の2人が受賞しました。

11/21 組員活動交流会

対面で報告・交流しました



協同組合のアイデンティティ声明について学習しました



グループで話すことで元気をもち帰りました

埼玉会館会議室にて、4生協38人が参加し、開催しました。はじめに、埼玉県生協連の吉川尚彦会長理事による「協同組合のアイデンティティ声明」の改定についての学習、次に今年度の特徴的な活動や担い手づくりに関する取り組みをそれぞれ報告し、午後からは5つのグループに分かれて、活動交流を行いました。他生協の活動を知ること、自組織の活動を振り返ることができたなどの声が寄せられました。

11/13 埼玉省委託事業 県内消費者団体地区別研修会①

年金問題や介護、健康など、幅広く学びました



上尾東武ホテルコミュニティホールで、会場13人、Zoomによるオンライン14人計27人の参加で、「安心して暮らし続けるために～人生100年時代、どう生きる～」

と題して、高齢者や障害者の生活支援サービスを行っているNPO法人助け合い村理事長、高野保さんに講演いただきました。参加者からは、「65歳以上の単身女性の2人に1人は相対的貧困状態であることに驚いた」「社会制度が脆弱ななか、どの世代も安心して暮らせるセーフティネットのような取り組みを継続していくことの重要性和大変さを認識した」などの声が寄せられました。

10/14 埼玉消費者被害をなくす会 消費者力アップ学習会Vol.2

「すすむキャッシュレス決済～私たちの暮らしはどう変わるのか～」を開催



埼玉会館会議室およびオンライン（Zoom）にて、川野祐司さん（東洋大学経済学部教授）を講師に迎え学習会を開催、73人が参加しました。キャッシュレスとは何か、世界のキャッシュレス事情、新しい技術と上手に付き合うこと、金融リテラシー教育の必要性などについて、お話いただきました。参加者からは、「現金が当たり前過ぎてきましたが、キャッシュレスの利点も良く分かった」「金融リテラシー教育としての予算管理やライフプランニングの重要性についてのお話が興味深かった」などの声が寄せられました。

SAITAMA
2024 冬号
No.88
(2024年1月発行)

県内生協の活動を写真で伝える情報誌

写真ニュース



埼玉県マスコット「コバトン」

Top News

10/25

第59回埼玉県消費者大会 全体会、分科会にのべ約600人に参加いただきました



記念講演では寺島実郎さんにお話いただきました



吉川尚彦事務局長による実行委員会報告



環境分科会は埼玉県の現状について講演いただきました

「誰ひとり取り残さない社会を目指して～わたしたち消費者の行動が未来をきめる～」を大会スローガンに、埼玉会館小ホールおよびオンラインで開催されました。開会にあたり、アトラクションとして、福島県双葉町から埼玉県に避難されてきた箏奏者 大川義秋さんに、箏を演奏いただきました。次に、実行委員会を代表して柿沼トミ子実行委員長のあいさつがあり、3月から毎月実行委員会を開催して、話し合いを積み重ね、準備してきたこと、午後の分科会では食や環境をテーマに開催することを報告しました。来賓の砂川裕紀埼玉県副知事より、大野知事からのメッセージを代読いただきました。

記念講演では、一般財団法人日本総合研究所会長 寺島実郎さんから「世界と日本のこれからわたしたちの暮らしを考える～消費者・市民としてどう行動するか～」と題して講演いただきました。午後の分科会は食「学校給食の現状から 埼玉の食料と農業の未来を考える」、環境「プラスチックごみの行方を知ろう～私たちはどう行動すればいいのか～」をテーマに開催しました。

11/20 第59回埼玉県消費者大会実行委員会と埼玉県との懇談会 埼玉県への要請書について懇談しました



事務局長あいさつでは、大会への後援や財政支援へのお礼を述べました



県からは16人（10部局16課）が出席

埼玉会館会議室にて、10月25日の第59回埼玉県消費者大会で確認された埼玉県への要請書について、実行委員会と埼玉県との懇談会が開催されました。実行委員会からは13団体16人が出席し、要請書に対する県の担当部局からの回答に対して、内容を補強する発言や質疑応答を行いました。





生活協同組合コープみらい

「コープみらいフェスタ in さいたまスーパーアリーナ」を開催しました



「未来へつなごう」を合い言葉に組合員が楽しく学べるブースを出展

10月22日、さいたまスーパーアリーナで「健康フェスタ」、「埼玉物産観光フェア」、「国際フェア」と同時開催し、約2万5千人の組合員・県民の皆さんをはじめ、大野元裕埼玉県知事にもご来場いただきました。

会場では180を超える団体が出展し、コープみらい10周年記念企画、取引先約60社による試食・販売、親子で学べるSDGsや食の体験企画、組合員の取り組み紹介やステージなどをお楽しみいただきました。

生活クラブ生活協同組合

世界農業遺産「武蔵野の落ち葉堆肥農法」の伝統的地域で「さんとめどんぐり村秋まつり」開催



落ち葉堆肥の中のカブト虫の幼虫探しは大人気

オープニングの和太鼓演奏

ギター&サックスの伴奏で参加者も合唱

あいにくの曇天の中、4年ぶりの開催となった秋まつり。ステージで太鼓演奏やギター演奏に合わせた元気な歌声から始まりました。

落ち葉堆肥の中にカブト虫の幼虫を探す子どもたち、竹細工作りやバルーンアート制作に夢中になる親子、寒さを凌ぐため温かい「さんとめ汁」に群がる大人たち。落ち葉の中に珍しい木の芽や、怪しいキノコを見つけて皆でワイワイ賑わい、アツという間に時間が過ぎました。水も電気も通っていない「さんとめどんぐり村」の自然を、いつまでも大切に守っていこう!と更に深く感じた一日でした。

生活協同組合パルシステム埼玉

商品の魅力再発見! 商品展示会開催



各ブースでは積極的な交流が行われ、笑顔でつながる展示会に

11月11日、さいたまスーパーアリーナ展示ホールで商品展示会を開催しました。約700人の参加者が、ふだん宅配で届けられる商品の作り手と直接顔を合わせ交流し、商品の新たな魅力を発見しました。また参加者へフードドライブの呼びかけや、省エネにつながる「うちエコ診断」ブースなども設置。食品ロス削減や困窮者支援、地球温暖化防止の意義など、一人ひとりの小さな行動が「誰か」の役に立つことを伝えました。

埼玉県勤労者生活協同組合

東日本大震災復興支援「ひまわりプロジェクト」に参加しました



満開のひまわり

福島県で活動されているNPO法人シャロームによる「ひまわりプロジェクト」に参加しています。

悪天候や猛暑の中、鳥や虫の被害の影響もあり、種があまり取れなかったとの感想を多くいただきましたが、集まったひまわりの種を福島に8.3kg送ることができました。ひまわりプロジェクトは、全国から集まった種をもとに、障がい者の方々やひまわり油などの搾油製造を依頼し、福島県の復興支援に役立てる活動です。

今後も活動を通じて福島との交流の輪を広げながら復興に向け、微力ではありますが支援していきます。

医療生協さいたま生活協同組合

ポッチャで活動が広がる!



子ども大人も夢中になります

ポッチャとは10cm弱の赤・青のボールを転がし、目標の白いボールにいかにか近づけるかを競う球技です。医療生協さいたまでは地区理事や組合員活動推進員が講師となって各地で体験会を行いました。シンプルなルールで年齢・体力に関係なく楽しめることが魅力の一つです。「拍手あって盛り上がった」「小さな会場ではコート小さくても楽しめるんだね」「支部の企画にしていきたい」など体験した人からは好評です。支部対抗の大会を計画している地区もあり、新しい活動として広がっています。

生活協同組合・さいたま高齢協

空き家を地域の交流の場に「小林さん家(ち)」オープン



ミニバザーでは有機野菜など販売 コーヒーを飲みながらおしゃべり

三郷市で地域の交流の場、高齢者の介護予防の場として空き家を改修して「小林さん家(ち)」を11月11日にオープンしました。

当日はミニバザーを企画し、大盛況でした。有機野菜、おからドーナツは、1時間で完売。陶器、地元作家の著書、スポーツタオルなどもたくさん購入いただきました。

来られた方には、コーヒー、お茶、お菓子をふるまい、おしゃべりを楽しんでいただきました。着物姿の女性が来られ、ここで着付教室をやりたいとのご要望がありました。

さいたま住宅生活協同組合

無料住宅診断で消費者被害を未然に防止



無料住宅診断での屋根の点検

さいたま住宅生活協同組合では、ご希望の組合員さんを対象に秋から冬に「無料住宅診断」を行っています。シロアリ点検や一級建築士による調査により、住宅に対するご不安に対応しています。

今年度の診断では、多くの組合員さんから、突然、業者が訪問し「お宅の屋根に不具合がある」と言われ、不安なので確認して欲しいというご相談が多数ありますが、実際には問題がないところがほとんどです。そうした訪問業者を屋根にあげてしまうと高額な請求や不当な工事をされてしまうことがあり、注意を促しています。

淑徳大学みずほ台生活協同組合

学生食堂「シルクロード」がリニューアルオープンしました



学生食堂「シルクロード」が、夏休み期間に改装工事を行い、後期授業開始時の9/14にリニューアルオープンしました。

9/25(月)~9/29(金)の間に改装記念キャンペーンを行い、きれいに改装した食堂を多くの組合員に利用していただきました。デザートやドリンクプレゼントや日替わりで醤油ラーメンやチキン竜井、カレーライス半額の特別企画などを実施し、好評でした。